

令和4年度静岡県地域少子化対策重点推進交付金(令和3年度補正予算)実施計画書

市町名 **伊東市**

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	機運醸成の取組		
関連事業メニュー	2.2.2 出産直後の男性の休暇取得や男性の家事・育児への参画を促進する機運を醸成するための取組		
個別事業名	プレママプレパパ教室	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~	令和5年3月31日	事業開始年度 平成29 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	75,300		円
市町における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(地域の実情と課題)</p> <p>本市の年少人口は昭和60年以降一貫して減少している一方で、老年人口は一貫して増加し、高齢化の進展が顕著になっている。また、出生数は長期にわたる少子化により年々減少傾向にあり、平成24年頃は400人程度であったが、ここ数年は270人程度となっている。また、合計特殊出生率(H25~H29)は、全国より高い状況であるものの、静岡県より低くなっている。出生数減少の要因として、未婚化・晩婚化の進行が指摘されており、平成27年国勢調査における若年層の未婚率は男性61.7%、女性50.1%となっている。静岡県策定の「ふじのくに少子化突破戦略の新羅針盤」における統計的な分析でも、結婚要因がマイナスとなり合計特殊出生率を押し下げていることが挙げられており、少子化の課題となっている。</p> <p>また、子どもを授かった男女に係る課題として、妊娠後の生活設計が不十分等のため妊娠中からの支援が必要な人の割合や、妊娠中の孤立感を感じている人の割合、育児に関する知識不足等による育児不安の訴えが増加している。また、結びつき希薄化による地域の育児力の脆弱化という地域性の課題がある。</p> <p>(支援が必要な人の割合 平成30年度6.6% 令和元年度8.1%) (孤立感を感じる人の割合 平成30年度2.6% 令和元年度7.0%) (育児不安を訴える人の割合 平成30年度2.6% 令和元年度3.5%)</p> <p>(個別事業の位置付け)</p> <p>子どもを授かった男女に係るこれらの課題を解消するため、伊東市は、気軽に育児相談できる場の設置や同じ悩みを持つ保護者のグループの支援に取り組み、また、地域の支援者と連携し地域における子育て支援体制を整備し、妊娠期から子育て期にわたる包括的なサービスを誰もが安心して切れ目なく受けられることを目指していく。本個別事業は、悩みを共有できる仲間づくりの場を設け両親が育児に積極的に臨めるよう支援するものであり、また地域の子育て支援サービスの拠点である子育て支援センターで実施することで出産後の生活をイメージし、産後も同センターの継続利用が可能なことから、切れ目のない子育て支援サービスの入り口として位置付けるものである。</p>		
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p><個別事業における現状と課題></p> <p>プレママプレパパ教室はパートナー同伴の参加を促すため全6回のうち2回は休日に開催し、令和元年度は78人、令和2年度は36人が参加した。「参加できなかったパパや他の家族にも妊婦体験をしてもらうため妊婦体験ジャケットを貸し出して欲しい」という要望があったが、妊婦体験ジャケットは教室に合わせて近隣市から借用していたため、希望者への貸出を行わなかった。</p> <p><課題への対応></p> <p>この課題に対応するため、特殊エプロンと子宮模型を購入し、令和4年度から希望者への妊婦体験エプロンの貸与を開始する。</p> <p><取組内容></p> <p>①マタニティヨガ講師を招いたプレママプレパパ教室の実施(マタニティヨガ体験) 9組×1回 ②プレママプレパパ教室(通常) 9組×6回</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者同士が交流できるグループワーク 赤ちゃん用品についての説明 赤ちゃんのあやし方、産前産後の母体の変調や生活の変化、栄養・歯科講話 家庭内の家事負担などの子育てプランの作成 妊婦体験・産婦体験 子育て支援サービスの支援先・内容の紹介 アンケート 自宅でできる妊婦体験エプロンの貸与 教室参加後に交流したい妊婦家族への「お友達お申込みカード」の配布 <p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p> <p>令和4年度の参加者アンケートに基づき、より深く知りたかった講話内容や、他に知りたかったマタニティ生活や出産後の不安点などを把握し、より効果的な実施方法について検討する。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p> <p>【事業実施にあたっての留意点】</p> <p>本事業は妊婦家族同士の仲間づくりを目的としているが、市による交流の強要にならないよう留意する。令和4年度から「お友達お申込みカード」の配布を開始した結果、反省点があれば次年度に反映する。</p>		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値
		子育てを楽しんでいる親の割合	%	95(令和7年)
	「出産・子育て支援の充実」に満足している市民の割合(市民満足度調査)	%	70(令和7年)	62(令和2年)
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績	
	合計特殊出生率	%	1.47((H25~H29)厚生労働省：R2公表値)	
	婚姻件数	件	230((H30)静岡県人口動態統計：R2公表値)	
	婚姻率	%	3.5((H30)静岡県人口動態統計：R2公表値)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値
	(アウトプット)			
	参加者数(マタニティヨガ回でない通常開催)	人	108(令和4年)	36(令和2年)
	対象妊婦数に対する参加率	%	15(令和4年)	7(令和2年)
	(アウトカム)			
	マタニティ友達ができた人の割合	%	80(令和4年)	60(令和2年)
	受講後新たに家事・育児で取り組む項目があると答えた参加者の割合	%	80(令和4年)	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8				
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載	無			
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、これまでの市町における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえた、市町における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付けを記載すること。

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、市町の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各市町は少なくとも令和4年度終了時点で、各市町において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各市町の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、市町における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各市町において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。